



2024年10月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年12月12日

上場会社名 セルソース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4880 URL <https://www.cellsource.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 澤田貴司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート 本部長 (氏名) 伊賀智洋 (TEL) 0364555308
 定時株主総会開催予定日 2025年1月29日 配当支払開始予定日 2025年1月14日
 有価証券報告書提出予定日 2025年1月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期の業績 (2023年11月1日～2024年10月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期	4,355	△3.4	129	△89.4	236	△80.2	237	△74.2
2023年10月期	4,510	5.5	1,221	△22.2	1,194	△24.6	923	△9.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年10月期	12.02	11.96	3.9	3.4	3.0
2023年10月期	48.88	47.93	18.7	20.8	27.1

(参考) 持分法投資損益 2024年10月期 一百万円 2023年10月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期	7,074	6,037	84.7	302.52
2023年10月期	6,879	6,201	89.4	311.25

(参考) 自己資本 2024年10月期 5,991百万円 2023年10月期 6,150百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年10月期	591	△614	△437	4,320
2023年10月期	846	△624	1,449	4,781

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年10月期	—	0.00	—	20.00	20.00	395	40.9	7.8
2024年10月期	—	0.00	—	5.00	5.00	99	41.6	1.6
2025年10月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00	—	—	—

3. 2025年10月期の業績予想 (2024年11月1日～2025年10月31日)

当社は、2025年10月期決算より連結決算に移行するため、当社の2025年10月期決算の業績予想については公表いたしません。なお、2025年10月期の連結業績見通しにつきましては、売上高4,501百万円、営業利益370百万円、経常利益372百万円、親会社株主に帰属する当期純利益255百万円を予想しております。

詳細は、本日(2024年12月12日)公表しました「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年10月期	19,806,100 株	2023年10月期	19,761,100 株
② 期末自己株式数	2024年10月期	580 株	2023年10月期	575 株
③ 期中平均株式数	2024年10月期	19,802,005 株	2023年10月期	18,884,191 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2024年12月12日（木）に、オンラインによる投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
製造原価明細書	8
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(表示方法の変更)	14
(会計上の見積りの変更)	14
(セグメント情報等)	14
(持分法損益等)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、2014年11月の「再生医療等の安全性の確保等に関する法律（以下、「再生医療等安全性確保法」という。）」と「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」施行を踏まえ、再生医療関連事業の産業化推進と同業での新たな価値創出を目指し2015年11月に創設され、当事業年度は第9期となります。

当社は、血液由来加工受託サービス、脂肪由来幹細胞加工受託サービス、滑膜由来幹細胞加工受託サービス、FatBankサービス及び卵子凍結保管受託サービスで構成される「組織・細胞の加工受託・保管サービス」、医療機関に対し再生医療等安全性確保法に関連する書類作成等のサポートを行う再生医療等法規対応サポートや経営管理支援サービスで構成される「コンサルティングサービス」、医療機関が患者から脂肪等を採取するために必要となる機器を販売する「医療機器販売」、並びに「化粧品販売その他」から構成される「再生医療関連事業」を行っております。

当事業年度（2023年11月1日から2024年10月31日まで）におきましては、主事業である血液由来加工受託サービス、脂肪由来幹細胞加工受託サービスにおいて、受託件数が前事業年度比減少しました。また、業容拡大及び企業価値の最大化に向けた製造拠点拡大関連コストに加え、新たに卵子凍結保管受託サービス「卵子凍結あんしんバンクTM」のサービス提供の開始に伴い、戦略的なコストを投下しました。これに加え、当事業年度において、当社が提供している滑膜由来幹細胞加工受託サービスについて社会実装の難易度を再評価し、当初見込まれた売上達成が困難であると判断しました。これに基づき、滑膜由来幹細胞加工受託サービスにおいて合理的に算出可能な関連費用を2024年10月期に契約損失引当金として計上しました。これらにより、売上原価、販売費及び一般管理費についても大幅に増加しました。

以上の結果、当事業年度の業績は、売上高は4,355,063千円（前事業年度比3.4%減）、売上総利益は2,417,411千円（前事業年度比24.1%減）、販売費及び一般管理費は2,288,253千円（前事業年度比16.5%増）、営業利益は129,158千円（前事業年度比89.4%減）、経常利益は236,652千円（前事業年度比80.2%減）、当期純利益は237,940千円（前事業年度比74.2%減）となりました。

各サービス別の概況は、以下のとおりです。なお、当社は「再生医療関連事業」の単一セグメントを採用しております。

(加工受託サービス・コンサルティングサービス)

加工受託サービス又はコンサルティングサービスの契約を締結した提携医療機関数が前事業年度末から206院増加し、当事業年度末には1,955院に拡大いたしました。一方、医療機関あたりの受託件数は伸び悩み、血液由来加工受託サービスと脂肪由来幹細胞加工受託サービスを合計した加工受託件数が前事業年度の26,633件から当事業年度は22,944件に低下するなど、加工受託サービス・コンサルティングサービスの売上高は減少しました。

上記の結果、当事業年度の加工受託サービスの売上高は2,743,569千円（前事業年度比12.8%減）、コンサルティングサービスの売上高は185,797千円（前事業年度比57.3%減）となりました。

(医療機器販売)

医療機器販売は、主に美容クリニック等の医療機関に脂肪吸引機器等の医療機器を販売しております。当事業年度の売上高は、取引先への販売の拡大に伴い918,566千円（前事業年度比30.3%増）となりました。

(化粧品販売その他)

化粧品販売はBtoCモデルとBtoBモデルがあります。BtoCモデルは、主に自社Webサイトを中心に自社の化粧品を販売しております。またBtoBモデルは、自社で開発した化粧品原料を販売会社に提供、及び販売会社の委託を受けて自社化粧品原料を用いたOEM製造・販売をしております。当事業年度は、BtoBモデルによる化粧品販売が増加し、売上高は507,130千円（前事業年度比126.1%増）となりました。

当社が経営上の主要係数としてモニタリングしている加工受託サービス又はコンサルティング契約を締結した「提携

医療機関数」、血液由来加工受託サービスと脂肪由来幹細胞加工受託サービスを合計した「加工受託件数」及び「営業利益率」の各数値、並びにサービス分類別売上高の四半期（3カ月）推移は以下のとおりとなっております。

(金額単位：千円)

	2023/10期 第4四半期	2024/10期 第1四半期	2024/10期 第2四半期	2024/10期 第3四半期	2024/10期 第4四半期	直前四半期 対比
提携医療機関数（期末）	1,749院	1,802院	1,865院	1,923院	1,955院	+32院
加工受託件数	6,049件	5,685件	5,570件	6,271件	5,418件	△853件
営業利益率	16.2%	17.5%	7.2%	9.6%	-25.5%	△35.1ポイント
(サービス分類別売上高)						
加工受託サービス	793,559	664,394	671,872	712,332	694,970	△2.4%
コンサルティングサービス	77,989	56,648	62,770	42,102	24,275	△42.3%
医療機器販売	179,775	297,761	188,596	225,539	206,669	△8.4%
化粧品販売その他	53,091	154,711	130,917	133,736	87,765	△34.4%

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は7,074,909千円と前事業年度末から195,172千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が460,106千円減少した一方で、建物が352,899千円増加、工具器具及び備品が168,702千円増加、関係会社株式が131,500千円増加したことによるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債は1,037,807千円と前事業年度末から360,070千円増加いたしました。これは主に、固定負債の契約損失引当金が243,099千円増加したこと及び資産除去債務が146,546千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末の純資産は6,037,101千円と前事業年度から164,897千円減少いたしました。これは主に、当期純利益を237,940千円計上したことと、配当金395,210千円の支払があったため、利益剰余金が157,269千円減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は4,320,915千円となり、前事業年度末と比較して460,106千円減少となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動による資金の増加は591,723千円（前年同期は846,691千円の増加）となりました。これは主に、税引前当期純利益294,941千円の計上及び補助金の受取額134,529千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動による資金の減少は614,961千円（前年同期は624,080千円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出493,256千円及び関係会社株式の取得による支出131,500千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動による資金の減少は437,244千円（前年同期は1,449,123千円の増加）となりました。これは主に、配当金の支払額393,608千円等があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

翌事業年度におきましては、整形外科を重点領域とし、血液由来加工受託サービス等の既存サービスの伸長に加え、加工受託サービスとシナジーが見込める医療機関支援サービスにも注力することで、増収を見込んでおります。また、製造拠点の集約化完了と規律を持ったコスト管理等により、増益となる見通しです。

当社は、2025年10月期決算より連結決算に移行するため、当社単体の2025年10月期決算の業績予想については公表いたしません。なお、2025年10月期の連結業績見通しにつきましては、売上高4,501,147千円、営業利益370,533千円、経常利益372,933千円、親会社株主に帰属する当期純利益255,083千円を予想しております。

詳細は、本日（2024年12月12日）公表しました「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成しておらず、また、当社の事業の大半が日本国内で行われていることから、会計基準につきましては、日本基準を適用しております。国際会計基準の適用につきましては、今後の当社事業展開や国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年10月31日)	当事業年度 (2024年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,781,022	4,320,915
売掛金	364,279	328,759
商品及び製品	153,453	95,558
仕掛品	38,196	48,364
原材料及び貯蔵品	114,276	139,913
前渡金	13,241	7,249
前払費用	79,463	83,382
その他	48,034	49,909
貸倒引当金	△2,787	△5,240
流動資産合計	5,589,181	5,068,814
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	411,565	764,464
工具、器具及び備品（純額）	132,381	301,083
リース資産（純額）	88,284	69,394
建設仮勘定	26,510	—
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	658,740	1,134,943
無形固定資産		
ソフトウェア	19,809	34,123
ソフトウェア仮勘定	—	24,310
無形固定資産合計	19,809	58,433
投資その他の資産		
投資有価証券	152,040	176,571
関係会社株式	—	131,500
長期前払費用	28,287	18,567
繰延税金資産	43,964	147,377
敷金及び保証金	387,713	338,702
破産更生債権等	165	165
貸倒引当金	△165	△165
投資その他の資産合計	612,004	812,719
固定資産合計	1,290,555	2,006,095
資産合計	6,879,736	7,074,909

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年10月31日)	当事業年度 (2024年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,463	93,067
リース債務	20,251	20,571
未払金	103,261	57,658
未払費用	73,199	68,808
未払法人税等	42,773	29,834
未払消費税等	19,503	16,276
未払配当金	—	1,601
前受金	57,569	37,974
預り金	17,307	15,722
契約損失引当金	—	29,916
賞与引当金	40,012	63,928
受注損失引当金	2,814	2,490
株式報酬引当金	—	3,634
その他	—	107
流動負債合計	452,156	441,592
固定負債		
リース債務	77,291	56,719
資産除去債務	148,289	294,836
長期末払金	—	1,558
契約損失引当金	—	243,099
固定負債合計	225,581	596,214
負債合計	677,737	1,037,807
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,425,397	1,426,474
資本剰余金		
資本準備金	1,335,397	1,336,474
資本剰余金合計	1,335,397	1,336,474
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	3,377,319	3,220,049
利益剰余金合計	3,377,319	3,220,049
自己株式	△1,696	△1,703
株主資本合計	6,136,418	5,981,294
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,034	10,353
評価・換算差額等合計	14,034	10,353
新株予約権	51,546	45,453
純資産合計	6,201,999	6,037,101
負債純資産合計	6,879,736	7,074,909

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当事業年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
売上高	4,510,544	4,355,063
売上原価	1,325,543	1,937,651
売上総利益	3,185,000	2,417,411
販売費及び一般管理費		
荷造運賃	71,079	65,350
広告宣伝費	32,814	39,713
貸倒引当金繰入額	△4,576	2,452
役員報酬	82,800	162,900
給料手当	512,700	633,110
業務委託費	197,782	151,242
地代家賃	203,804	241,492
支払手数料	104,648	139,508
減価償却費	25,480	54,981
研究開発費	72,453	71,009
賞与引当金繰入額	53,799	91,983
その他	610,714	634,509
販売費及び一般管理費合計	1,963,501	2,288,253
営業利益	1,221,499	129,158
営業外収益		
受取利息	13	48
補助金収入	18,166	111,510
固定資産売却益	—	5,366
雑収入	11,488	7,868
営業外収益合計	29,668	124,794
営業外費用		
支払利息	379	1,362
株式交付費	15,531	20
上場関連費用	25,000	—
為替差損	8,399	2,184
有価証券評価損	1,814	—
投資事業組合運用損	3,077	4,588
賃貸借契約解約損	—	1,594
支払補償費	2,696	6,544
その他	—	1,006
営業外費用合計	56,899	17,301
経常利益	1,194,268	236,652
特別利益		
投資有価証券売却益	34,816	46,540
新株予約権戻入益	8,667	11,749
その他	1,931	—
特別利益合計	45,414	58,289
税引前当期純利益	1,239,682	294,941
法人税、住民税及び事業税	308,353	158,788
法人税等調整額	8,186	△101,788
法人税等合計	316,540	57,000
当期純利益	923,142	237,940

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)		当事業年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(製造原価明細)					
材料費		286,785	27.1	324,965	20.7
労務費		404,502	38.2	417,948	26.6
経費	※1	367,714	34.7	829,944	52.8
当期総製造費用		1,059,003	100.0	1,572,858	100.0
期首仕掛品棚卸高		23,188		38,196	
合計		1,082,191		1,611,055	
期末仕掛品棚卸高		38,196		48,364	
当期製品製造原価		1,043,995		1,562,690	
期首製品棚卸高		14,079		23,320	
合計		1,058,074		1,586,011	
他勘定振替高	※2	4,543		21,874	
期末製品棚卸高		23,320		26,033	
受注損失引当金繰入額		2,805		△323	
製品売上原価		1,033,015		1,537,780	
(商品原価明細)					
期首商品棚卸高		107,273	25.2	130,132	27.6
当期商品仕入高		319,200	74.8	341,486	72.4
合計		426,473	100.0	471,618	100.0
他勘定振替高	※3	3,813		2,222	
期末商品棚卸高		130,132		69,524	
商品売上原価		292,528		399,871	
売上原価合計		1,325,543		1,937,651	

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
契約損失引当金繰入額	—	266,500
地代家賃	58,082	116,650
外注加工費	69,286	102,416
減価償却費	40,896	90,641
消耗品費	53,027	54,853

※2 製造原価における他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
商品仕入高 (商品原価)	1,688	1,927
広告宣伝費 (販売費及び一般管理費)	97	85
研究開発費 (販売費及び一般管理費)	1,242	17,322
その他 (販売費及び一般管理費)	1,514	2,538

※3 商品原価における他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
材料費 (製造原価)	1,938	1,792
その他 (販売費及び一般管理費)	1,874	429

(原価計算の方法)

原価計算の方法は、加工受託サービス及び化粧品その他製品については実際総合原価計算を、コンサルティングサービスについては個別原価計算を採用しております。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

(単位：千円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	689,226	599,226	599,226	2,454,176	2,454,176	△1,696	3,740,933
当期変動額							
新株の発行	736,171	736,171	736,171				1,472,342
剰余金の配当							—
当期純利益				923,142	923,142		923,142
自己株式の取得							—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	736,171	736,171	736,171	923,142	923,142	—	2,395,485
当期末残高	1,425,397	1,335,397	1,335,397	3,377,319	3,377,319	△1,696	6,136,418

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計		
当期首残高	3,045	3,045	41,552	3,785,531
当期変動額				
新株の発行				1,472,342
剰余金の配当				—
当期純利益				923,142
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	10,988	10,988	9,994	20,983
当期変動額合計	10,988	10,988	9,994	2,416,468
当期末残高	14,034	14,034	51,546	6,201,999

当事業年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

(単位：千円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	1,425,397	1,335,397	1,335,397	3,377,319	3,377,319	△1,696	6,136,418
当期変動額							
新株の発行	1,076	1,076	1,076				2,152
剰余金の配当				△395,210	△395,210		△395,210
当期純利益				237,940	237,940		237,940
自己株式の取得						△6	△6
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	1,076	1,076	1,076	△157,269	△157,269	△6	△155,123
当期末残高	1,426,474	1,336,474	1,336,474	3,220,049	3,220,049	△1,703	5,981,294

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計		
当期首残高	14,034	14,034	51,546	6,201,999
当期変動額				
新株の発行				2,152
剰余金の配当				△395,210
当期純利益				237,940
自己株式の取得				△6
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△3,681	△3,681	△6,092	△9,774
当期変動額合計	△3,681	△3,681	△6,092	△164,897
当期末残高	10,353	10,353	45,453	6,037,101

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当事業年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,239,682	294,941
減価償却費	63,851	141,997
長期前払費用償却額	14,233	11,229
敷金償却	3,058	12,150
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,576	2,452
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15,420	23,915
契約損失引当金の増減額 (△は減少)	—	273,016
受取利息	△13	△48
支払利息	379	1,362
固定資産除却損	—	531
固定資産売却損益 (△は益)	—	△5,366
為替差損益 (△は益)	14,291	△376
補助金収入	△18,166	△111,510
有価証券評価損益 (△は益)	1,814	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	3,077	4,588
株式交付費	15,531	20
株式報酬費用	21,751	5,656
投資有価証券売却損益 (△は益)	△34,816	△46,540
新株予約権戻入益	△8,667	△11,749
上場関連費用	25,000	—
売上債権の増減額 (△は増加)	293,051	35,519
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△78,903	22,090
前渡金の増減額 (△は増加)	14,114	5,992
仕入債務の増減額 (△は減少)	△34,228	17,603
前受金の増減額 (△は減少)	25,918	△19,594
その他	△35,577	△27,492
小計	1,536,229	630,390
利息の受取額	13	48
利息の支払額	△379	△1,362
補助金の受取額	—	134,529
法人税等の支払額	△689,172	△174,859
法人税等の還付額	—	2,977
営業活動によるキャッシュ・フロー	846,691	591,723
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△348,072	△493,256
有形固定資産の売却による収入	—	5,517
無形固定資産の取得による支出	△10,930	△46,431
投資有価証券の取得による支出	△49,992	△54,750
投資有価証券の売却による収入	114,816	66,540
長期前払費用の取得による支出	△33,394	△3,629
敷金及び保証金の差入による支出	△296,507	△88
敷金及び保証金の回収による収入	—	42,637
関係会社株式の取得による支出	—	△131,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△624,080	△614,961

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当事業年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による支出	—	△3,885
株式の発行による収入	1,461,669	—
自己株式の取得による支出	—	△6
上場関連費用の支出	△6,000	△19,000
リース債務の返済による支出	△6,546	△20,251
配当金の支払額	—	△393,608
その他	△0	△493
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,449,123	△437,244
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,291	376
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,657,441	△460,106
現金及び現金同等物の期首残高	3,123,580	4,781,022
現金及び現金同等物の期末残高	4,781,022	4,320,915

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(損益計算書関係)

前事業年度において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「支払補償費」は、金額的重要性が増したため、当事業年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた2,696千円は、「支払補償費」2,696千円として組替えております。

(会計上の見積りの変更)

当社は羽田グローバルCPCの不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、工事実績後に新たな情報を入手し、見積りの変更を行いました。

この見積りの変更による増加額145,872千円を変更前の資産除去債務に加算しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は、「再生医療関連事業」のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当事業年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
1株当たり純資産額	311.25円	302.52円
1株当たり当期純利益	48.88円	12.02円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	47.93円	11.96円

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当事業年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	923,142	237,940
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	923,142	237,940
普通株式の期中平均株式数(株)	18,884,191	19,802,005
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	376,894	97,562
(うち新株予約権(株))	(376,894)	(97,562)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権方式によるストックオプション 第10回新株予約権 (2022年11月30日取締役 会決議、株式の数3,900 株)	新株予約権方式による ストックオプション 第11回新株予約権 (2024年2月26日取締 役会決議、株式の数8,000 株)

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2024年10月31日開催の取締役会において、当社が100%出資する子会社の設立を決議し、2024年11月1日付でハイブリッドメディカル株式会社を設立いたしました。

1. 設立の目的

当社は、2015年の創業以来、再生医療等に用いられる細胞・血液の加工受託サービスを中心に事業を展開してきました。そのような中で、整形外科を中心とした全国の医療機関とより密な連携を図るため新たに医療機関の運営サポートに特化した子会社を設立いたします。

2. 子会社の概要

(1) 名称	ハイブリッドメディカル株式会社
(2) 所在地	東京都渋谷区渋谷一丁目23番21号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 片岡賢太郎
(4) 資本金	1億円
(5) 設立年月日	2024年11月1日
(6) 出資比率	当社 100%
(7) 事業内容	医療機関の運営サポート